

G空間EXPO実行委員会設立趣意書（案）

自分がいる場所・時間と自分を取り巻く空間の状況が正確に把握できれば、私たちの行動は高い効率性を発揮し、また多くのリスクを低減させることが可能となります。いつでも、どこでも、誰でも、どんなものからでも情報ネットワークにアクセスできる「ユビキタス社会」が我が国の経済社会を大きく変えるというパラダイムシフトが進みつつある今日、その基盤となる地理空間情報を高度に活用する社会の実現が強く求められています。

そのためには、産業界、学界、国・地方公共団体がそれぞれの役割に応じて、地理空間情報の整備・更新・提供・流通、地理情報システム（GIS）や衛星測位についての技術開発やシステム・サービスの提供、関連する制度、標準、基準等の整備を図っていく必要があります。

このため昨年10月、関係者間のニーズを十分に把握し、相互の連携が確保された取組の推進に資することを目的として、産学官の多岐にわたる関係者から構成される「地理空間情報産学官連携協議会」を発足させ、産学官における課題認識と情報の共有を図り、地理空間情報の効果的な活用を推進するための諸活動を開始したところです。

そしてこのたび、その活動の一環として、地理空間情報高度活用社会の具体的なイメージについての国民各層の理解を促すため、新産業の創造に寄与する講演会・シンポジウム、機器・ソフトウェアなどの関連ツールの展示会、産学官の関係者の情報交換会等を同時に展開する「G空間EXPO」（仮称）を産学官の連携の下に開催することといたします。

G空間EXPOの開催を通じて、産学官関係者の連携が一層深まり、生活の安全や利便性の向上、生産性の向上に関する地理空間情報の有効性について国民の関心を高めることにより、新たな産業の創出や官民の種々のサービスの高度化について様々な提案や創意工夫を掘り起こすことが出来るよう、「G空間EXPO実行委員会」（仮称）の設立をここに呼びかけるものです。

平成21年6月23日
地理空間情報産学官連携協議会